

「お金」を面白いほど引き寄せる黄金ルール

24. “感謝”は幸運を引きつける磁石

一日一回、自分の周りにあるすべての恵みに対して感謝しなさい。そうすれば、幸運が途絶えることはありません。

感謝という行為には、よいものを引きつける磁石の効用があります。たとえば何かをしてもらって「ありがとう」がいつも言える人は、人からも好かれ、よい機会にも恵まれる。まさに博士が言われるように「恵みがとだえることがない」のです。

しかし、ある人はこう言うかも知れません。「それはわかる。でも私には感謝するような材料が見当たらない」……と。

やることなすこと悪い方向へいってしまい「自分はツキに見放された」と思っているような人は、感謝の言葉が出てきにくいものです。そういう人は、もう一度マーフィー博士のアドバイスを、注意深く読み直してみることです。

博士は「自分が受けているすべての恵みに対して…」と言っておられます。この視点からとらえれば、感謝する材料がない人は一人もありません。もし、今のあなたが恋人に裏切られ、仕事もうまく行かず、経済的に困窮しているとしてもです。

ユダヤの格言に「右手を骨折したら両手でなくてよかったと思いなさい。両手を骨折したら足まで骨折しなくてよかったと思いなさい。両手、両足を骨折したら命があつてよかったと思いなさい」というのがありますが、この言葉はどんな状況でも「よかった」と感謝する材料はあるということです。

たとえば国の年金制度への不信感が高まる中、「自分の老後はどうなるのか」と多くの人が不安に思っています。けれど、こういう視点から年金問題を見るのは間違っています。

感謝から始めれば、自分の置かれた状況が「まんざらでもない」ことが理解できるようになる。「ありがたいな」という習慣を身につけると、どんなことでも「ありがたく思える」ようになってきます。そうなったら、あなたは不幸ですか、幸せですか。これはもう論議の余地がないはずです。

感謝するには材料を探しているようではダメなのです。かりに不本意なことがあつたとしても、とりあえず「ま、いいか」と現状を受け入れ、感謝してみる。感謝すると、不思議に心が落ち着いて、豊かな気持ちになれます。そういう気持ちになつたとき、あなたは一番富に近いところにいるのです。
